

クリニカルラダー

看護部 教育委員会

2019年改正

コース	新人	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
定義/到達目標	組織の一員として規律を守り、指導を受けながら正確で安全な看護が提供できる	自立に向けた指導を受けながら、チームメンバーの役割を果たすことができる	臨床場面において自律的に看護を実践し、新人指導を行うことができる	看護実践モデルとしてリーダーシップを発揮し、後輩を育成することができる	専門的な看護実践と指導的役割を発揮し、部署の目標達成に貢献できる	部署及びスタッフの目標達成を促進し、師長代行業務ができる
看護実践能力	<ul style="list-style-type: none"> *マニュアルを活用し、指導を受けながら看護を実践することができる ・生活の援助行為 ①基本的な看護技術を習得し、安全・安楽・確実に実践できる →新人チェックリスト評価参照 ②診療の補助行為→各部署指定用紙使用 ・患者、家族に対する指導 ③指導を受けながら、患者・家族に指導できる ・記録 ④指導を受けながら、看護実践が正確に記録できる ⑤各書類の記録方法を理解できる (オーデット参照) 	<ul style="list-style-type: none"> *指導を受けながら個別性のある看護が提供できる ・生活の援助行為 ①基本的な看護技術を習得し、安全・安楽・確実に実践できる→新人チェックリスト評価参照 ②診療の補助行為→各部署指定用紙使用 ・患者、家族に対する指導 ③患者の訴えを聞きながら検査、処置などの説明ができる ④指導を受けながら、患者・家族に指導ができる ・記録 ⑤指導を受けながら、看護実践が正確に記録できる 	<ul style="list-style-type: none"> *自律的に看護を実践することができる ・生活の援助行為 ①疾患・症状・行われている医療処置に応じた生活援助が安全・安楽に実施できる ・診療の補助行為 ②患者の症状や反応を観察し、バイタルサイン・検査値・水分バランスなどの正常・異常を判断し、即座に報告・対処できる ③当該部署の特殊な処置の実施・介助ができる ④当該部署の特殊なME機器が使用できる ⑤支援を受けながら、緊急事態に対応できる ・患者、家族に対する指導 ⑥看護計画に沿い、自立して患者・家族指導ができる ・記録 ⑦看護実践が正確に記録できる 	<ul style="list-style-type: none"> *看護モデルとなり、後輩を指導できる ・生活の援助行為 ①日常生活の援助に際して、他部門と連携をとりながら、適切なケアが提供できる ②複数の合併症やチューブドレーン類のある患者の援助行為ができる ・診療の補助行為 ③潜在的な問題を予測しながら、診療補助やモニタリングし、その結果を的確に査定し対処できる ④緊急事態発生時、迅速に対応できる ・患者、家族に対する指導 ⑤患者のライフスタイルを考慮し、患者・家族のニーズに沿って具体的な指導ができる ・看護記録 ⑥看護問題に対し、洞察と解決をもたらすような記録ができる ⑦患者に提供されている看護ケアの質の評価について意見を述べる事ができる ⑧後輩の動きに注意を払い、必要時支援ができる ⑨患者のニーズとスタッフの能力を考慮し業務配分できる 	<ul style="list-style-type: none"> *看護の質を査定すると共に、質向上に向けて部下を支援できる ・生活の援助行為 ①複雑なME機器装着中あるいは重篤状態にある患者に対して、対象の反応や状況に応じた柔軟な対応・援助ができる ②多様なアプローチを組み入れた患者ケア計画に沿って、患者ケアが実践できる ・診療の補助行為 ③高度の判断と技術を要する診療補助を的確に行う事ができる ④緊急事態発生時、迅速に対応しリーダーシップが発揮できる ・患者、家族に対する指導 ⑤患者・家族の反応を評価しながら個別的な指導ができる ・看護記録 ⑥複雑な患者ケアの問題に対し、洞察と解決をもたらすような記録ができる ⑦患者に提供されている看護ケアの質の評価ができる ⑧患者ニーズとスタッフの能力を考慮に入れ業務配分でき、妥当性について評価できる 	
指導能力			<ul style="list-style-type: none"> ①レベル新人～Ⅰのスタッフが各自の役割が発揮できるように指導できる ②学生が行う基本的な援助について、指導・助言ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①学生に看護過程の指導・助言ができる ②指導者と連携を図り、学生の指導ができる ③レベル新人～Ⅱのスタッフが各自の役割が発揮できるように指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> ①学生に看護の視点をアドバイスできる ②学生のカンファレンスで適切な助言ができる ③レベル新人～Ⅲのスタッフが各自の役割が発揮できるよう指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> ①新人教育のプログラム作成、実施評価ができる ②学生指導について中心的な役割を果たすことができる ③レベル新人～Ⅳのスタッフが各自の役割が発揮できるよう指導できる
対人関係能力	<ul style="list-style-type: none"> ①社会人としてのマナーを身につけることができる (身だしなみ・言葉使い・挨拶) ②患者を尊重した接し方ができる ③上司や、先輩の意見・考えを謙虚に受け止めることができる ④自分の意見を伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者、家族と良い人間関係を築くことができる ②患者を尊重した接し方ができる ③上司や、先輩の意見・考えを謙虚に受け止めることができる ④自分の意見を伝えることができる ⑤協調性を持ち、メンバーシップが発揮できる ⑥上司やスタッフ、他部門の職員とコミュニケーションをとることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者・家族に対して思いやりと共感の気持ちを持って接することができる ②スタッフの特性を理解し、接することができる ③自分の考えを述べるることができる ④他部門の役割を理解し、協力し合うことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①問題行動のある患者に対し、柔軟に接することができる ②スタッフ間の調整役ができる ③後輩の悩みを聞き、適切なアドバイスができる ④医療従事者とアサーティブな関係をつくることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者家族の背景を知り、臨機応変な対応ができる ②スタッフの能力を判断し、指導できる ③他部門との対応が柔軟にできる 	<ul style="list-style-type: none"> ①患者家族が問題とと思っていることを受容し快保できる ②スタッフが成長できるための動機付け、支援ができる ③他部門との良い関係を保ちながら交渉できる
マネージメント能力	<ul style="list-style-type: none"> ①病院の理念、看護局の理念、部署の目標が理解できる ②必要なことを報告・連絡・相談できる ③緊急時の対応を理解し、指示に従い行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務を確実に遂行できる ①コスト意識を持ち、業務を行うことができる ②自部署の環境、物品について気づいたことが報告できる ③コミュニケーションがとれ、必要なことを報告・連絡・相談できる ④一日の行動計画を立てることができる ⑤緊急時の対応を理解し、指示を受けながら行動できる ⑥メンバーシップが理解できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務を効率的に遂行できる ①時間の観念を持ち、業務に取り組むことができる ②時間内に業務を終える工夫ができる ③常にコスト意識を持ち無駄を省く工夫ができる ④自部署の環境・物品に気を配ることができる ⑤上司に的確に、報告・連絡・相談ができる ⑥緊急時は患者の安全を第一に考え行動できる ⑦チームリーダーの役割ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務の改善に向けて、創造的に活動できる ①自部署の看護業務を把握し、改善と省略化にむけて取り組むことができる ②常にコスト意識を持ち、無駄を省く工夫ができる ③自部署の環境・物品に対し、問題を明確にし、解決に向けて意見を述べることができる ④業務の優先順位を決定できる ⑤緊急時スタッフへ指示できる ⑥リーダーシップを発揮できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務の改善に向けて、問題解決に取り組める ①コスト意識を持ち、経済性の視点で評価でき、改善に向けて取り組むことができる ②自部署のスタッフに、時間とコストの意識づけができる ③患者の生活の場、職場環境のアメニティに留意し、問題解決に向けて行動できる ④緊急時の安全対策を実施評価し指導できる ⑤副師長・主任不在時は代行業務ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護業務の改善に向けて、中心的な役割ができる ①業務量と内容を把握・分析し、改善に向けて計画案・実施、評価できる ②業務マニュアルの作成、見直し、改善ができる ③院内の委員会に参加して部署に反映できる ④緊急時に関連部署に報告ができる ⑤部署の活性化を図るための、中心的な役割ができる ⑥師長不在時は代行業務ができる ⑦スタッフと上司との調整役ができる
研究能力	<ul style="list-style-type: none"> ①院内の研究発表会に参加し雰囲気や流れを知ることができる ②日常の看護の中で、疑問や問題意識を持つことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①院内の研究発表会に参加し雰囲気や流れを知ることができる ②研究的視点で現場の看護を見ることができる ③ケーススタディ 1症例発表できる (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究の意義・目的を理解し、意識を高めることができる ②研究メンバーとして参加し、研究の進め方・まとめ方を理解することができる (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ①グループの中でリーダーとして研究を進めることができる ②先行研究や文献から情報を収集し、臨床で活用できる ③院内研究発表会で発表できる (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ①研究テーマを持ち、院外で発表することができる ②研究を通して、看護の専門性を深めることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフに研究の指導・助言ができる ①研究計画書の書き方 ②原稿の書き方 ③プレゼンテーションの方法
教育	<ul style="list-style-type: none"> ①部署の教育計画に積極的に参加できる ②自己の学習課題を明確にし、目標設定ができる ③院内・院外の研修に参加することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①部署の教育計画に参加し、専門領域の知識・技術を深めることができる ②文献を読み実践で活用し、看護観を表現できる ③院内・院外の研修に参加することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①部署の教育計画に参加し、専門領域の知識・技術を深めることができる ②文献を読み実践で活用し、看護観を表現できる ③院内・院外の研修に主体的に参加することができる ④研修会で学んだ事を、実践に活かすことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ①部署の教育計画の企画・運営ができる ②研修や文献学習で得た新しい知識・情報を提示できる 	<ul style="list-style-type: none"> ①部署の教育計画を作成し、実施評価ができる ②各部署にて研修の講師ができる (必須) 	<ul style="list-style-type: none"> ①自己のキャリア開発に向けて自律的に活動できる ②院内研修で講師ができる (必須)
研修	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 新人研修 リフレッシュ 褥瘡ミニ研修基礎予防編1～5章 (必須) (新人研修にて) 《院外研修》 ・滋賀県看護協会 レベルⅠ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 レベルⅠ リフレッシュ 褥瘡ミニ研修技術編1～4章 (必須) 《院外研修》 ・滋賀県看護協会 レベルⅠ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 レベルⅠ、Ⅱ リフレッシュ 《院外研修》 ・滋賀県看護協会 レベルⅡ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 レベルⅠ～Ⅲ リフレッシュ 《院外研修》 滋賀県看護研究会 滋賀県看護協会 レベルⅡ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 レベルⅠ～Ⅳ リフレッシュ 《院外研修》 実習指導者講習会 (必須) 近畿看護研究会 滋賀県看護協会 レベルⅢ研修 	<ul style="list-style-type: none"> 《院内研修》 レベルⅠ～Ⅴ リフレッシュ 《院外研修》 日本看護研究会 日本看護協会資格認定 ファーストレベル (必須) 滋賀県看護協会 レベルⅣ研修